回覧

渋谷西 社協だより

第７５号
２０２５.８. １

発行：渋谷西地区社会福祉協議会
編集：広報担当
印刷：県央福祉会「ワークス桜舎」

～誰もが暮らしやすい福祉のまちづくり みなさんの参加で活動を進めましょう～

【ご挨拶】

渋谷西地区社会福祉協議会　会長　石井孝弘

前会長保田弟治氏の後継として会長の下福田南部の石井孝弘と申します。社会福祉という広範囲な事業の中で、当地域の課題は何か？一人住まい（独居高齢者）が増えつつある当地域何を援助協力すれば喜ばれるのかを探究し、今後の課題として少しでも住民に感謝される地区社協を目指して頑張る所存です。

この地区の住民の方々は社会福祉に対して何を求めておられるのか、ご意見ご要望を地区の民生委員・自治会から聴収し住みよい助け合いの地区社協を構築できれば幸い、の念に尽きます。

【令和７年度渋谷西地区社会福祉協議会新役員・企画奉仕部員・おたすけ隊】

【新役員】			【企画奉仕部員】
会　長	石 井 孝 弘	地域福祉委員	石井孝弘・伊藤　祐・稲本全宏・伊比邦夫
副会長	伊 比 邦 夫	下福田北部自治会 会長	遠田昌彦・及川博明・大滝昌司・大野達之
副会長	保 田 雅 治	代官庭自治会 会長	小泉二三夫・三ノ宮隆雄・関水貴浩
副会長	比留川忠雄	下福田南部第二自治会 会長	田邉　努・原　美好・比留川忠雄・村山明彦
副会長	村 山 明 彦	福田南民生委員児童委員協議会 会長	保田雅治・山口邦重・浅田紀子・江畑洋子
監　事	小泉二三夫	下福田南部第二自治会 会長	大澤清美・大野節子・大山和子・小泉美惠子
監　事	原　美 好	下福田コミセン管理運営委員会 会長	佐竹育子・鈴木悦子・望月江子　（26 名）
事務長	佐 竹 育 子	下福田南部第四自治会 副会長	【おたすけ隊】
会　計	望 月 江 子	地域福祉委員	遠田昌彦　・及川博明　・小泉二三夫
会　計	江 畑 洋 子	地域福祉委員	三ノ宮隆雄　・山口邦重　・高柳宏幸

【令和７年度総会】

令和７年度総会は下福田コミセンが工事中のため５月１８日（日）福田コミセン集会室で開催されました。

【総会終結をもっての退任者】

役職	氏　名	略　歴
会長	保 田 弟 治	平成 23 年度～平成 28 年度：副会長 平成 29 年度～令和　6 年度：会　長
監事	市 川 春 男	平成 23 年度～平成 28 年度：副会長 平成 29 年度～令和　6 年度：監　事

永い間、ありがとうございました。

永年功労表彰で在任 20 年の企画奉仕部員が表彰されました。

【街のトピックス　渋谷西地区社協の協力団体紹介】　ゆめクラブ大和　中福田福好会（ふくよしかい）

大和市シニアクラブ連合会（ゆめクラブ大和）中福田福好会は，昭和 54 年１月に設立され、今年で 46 年目を迎えました。中福田福好会は中福田地区、生協団地及びその近隣に居住する会員からなり、今年度は新会員６名を加え現在の会員数は 20 人です。内訳は男性９人、女性 11 人で、最高齢者は 94 歳、平均年齢は 85 歳です。

会員相互の協力によりその親睦を深め、楽しさと心豊かな生活を過ごせるよう活動を行っています。全体行事としては、新年会、観桜会、誕生会（年３回）、忘年会等を行い、親睦を深めています。老人集会所のある神明神社例大祭の演芸大会では、地元の皆さまに歌を披露しています。

同好会としては、舞踊部、民謡部、カラオケ部、ゲートボール部、グラウンドゴルフ部等がありますが、会員の高齢化、減少があり現在は一部の活動になっています。

最近は認知症予防に関する健康講座を地域の包括支援センターの協力のもと開催しています。

健康づくりへの取組みとしては、大和市シニアクラブ連合会主催のグラウンドゴルフ大会への参加や、スポーツ大会の競技種目である、輪投げ、スカットボール等をしています。

自治会と共同で公園の清掃活動

地域奉仕活動としては、神明神社境内の美化清掃や地域の中福田自治会と共同でひだまり公園の清掃を定期的に行っています。

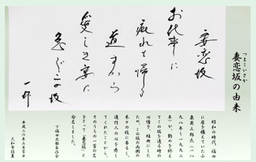
大和市内には、現在 63 のシニアクラブがあり、当クラブが所属している第７ブロックは、グラウンドゴルフ大会や演芸大会を開催しており、中福田福好会は歌やリズム体操を披露しています。

募集　中福田福好会で新規会員（60 歳以上の方）を募集しています。入会大歓迎です。お待ちしています。

ふるさと雑感　-８-　下福田北部「妻恋坂」　苦節 10 年妻恋坂の完成まで

昭和 53 年、私は横浜から転居してきました。その頃の坂はこの地に居を構える人々の生活道路でありましたが、道の両側は藪のように木や竹が鬱蒼として生い茂り小雨程度の降雨では傘も不要な程でした。道は狭く夜道は防犯灯も少なく女性は痴漢などが怖くてこの坂を避けて帰宅したことがあったとも伺っていました。

私はこの坂を地域の方々が安心して通行できるようにとの思いで、役員の方と坂の問題に取組んでいた方たちと話し合いを重ね議会に下福田北部自治会、妻恋坂を考える会の連盟で陳情書を提出し採択されました。議会にも傍聴や委員会にも伺い意見を述べたりさせて頂きました。結果、拡幅工事が財政難を理由に当初計画から１年遅れて着工の運びとなり現在の坂に生まれ変わりました。



坂の名称の由来は通勤の帰路、妻の待つ家路の道すがら短歌に造詣の深い殿方が短冊を枝に吊るし、通る人々にこころの潤いを与えてくれたであろう思いを洞察して命名しました。

この坂をなんとかしたい、しなければの思いから 10 年が経過しましたが、妻恋坂を考える会の方々や自治会役員、背中を押して応援してくれた会員の皆様の思いの結集で完成した坂です。

下福田北部自治会　山本雄一

編集後記

新メンバーでの広報発行となりました。つかまり立ちから、ヨチヨチ歩きをやっと始めたばかりの広報担当ばかりです。一歩ずつ、時には迷子になりながらでも進んで行こうと考えています。皆さまの色々なご意見、ふるさと雑感のコーナーへの寄稿や地区内の写真等も大歓迎です。また、一緒に渋谷西地区社協で活動をしたいという方も大募集中です。

【第 70 回お楽しみ会開催】　★下福田中学校吹奏楽部生徒が大活躍★

渋谷西地区社会福祉協議会と福田南地区民生委員児童委員協議会は渋谷西地区に在住でこれまで健康に過ごしてこられたひとり暮らし高齢者の方に心からのお祝いとこれからの健康を願って敬老お楽しみ会を２月 1 日（土）コミュニティセンター下福田会館にて高齢者 21 人、敬愛の園利用者５人(出演者と係員を入れると 84 人)が参加し盛大に開催されました。

ケアマネジャーの講話

第１部は大和市社会福祉法人敬愛会　福田南地域包括支援センターのケアマネジャーによる健康講話『認知症を知る～理解と予防とこれからと～』を真剣な眼差しで学びました。

第２部は下福田中学校の吹奏楽部の演奏です。2018 年からお楽しみ会に参加していただいている毎年好評の素晴らしい演奏で盛り上げていただきました。ロンドン橋、ふるさと、となりのトトロのメドレーでは高齢者は、目を輝かせ、指先や身体でリズムをとる方や後方では踊っている方もいらっしゃいました。最後のマツケンサンバⅡではダブルアンコールがありました。同じ曲でのダブルアンコールは初めてです。「生での演奏はやはり迫力があるね」拍手喝采で幕を閉じました。

マツケンサンバⅡで盛り上がる 「ブラボー!!」

昼食はコロナ禍後、久しぶりの会場での会食となりました。日頃ひとりさびしく食べる食事を中学生と楽しく会話をしながら食事をして楽しい時間を過ごす事ができました。

最後の全員お待ちかねの抽選会では、お年寄りが椅子から立ち上がらなくても良いように中学生が客席まで出向いての「おみくじ棒引き」で、棒を引くたびに一喜一憂の声が館内に響きました。「若い方から元気を貰えた」「来年もまた中学生の吹奏楽演奏を楽しみにしています」という声を沢山頂きました。下福田中学校の吹奏楽部の皆さん・地域包括支援センターの皆さんありがとうございました。また、次回もご協力宜しくお願い致します。

【男性料理教室】
２月 12 日下福田コミセン　調理室
指導：食生活改善推進協議会員
(ﾗｲｽﾍﾟｰﾊﾟｰ餃子、ｶﾎﾞﾁｬとﾄﾏﾄの重ね焼き
ﾌﾞﾛｯｺﾘｰとｴﾘﾝｷﾞのごま酢和えに挑戦)

【おたすけ隊】
令和６年度　出動回数：32 回
今年度も元気に出動しています

『みんなで描く大和のふくし　パレット』
第７次大和市社会福祉協議会地域福祉活動計画と地域支援担当

Q．幸ちゃん
この前テレビで、病気の父親の面倒を見ている娘が、父親を殴って死なせてしまった、っていうニュースを見たよ。こわいな～と思ったけど、うちの近所にはそんな人いないよね。

A．福おじさん
そうとは限らないよ。病気の家族の面倒をみることに疲れているとか、誰かに手伝ってもらいたいとか、周りの人に言えないだけで、同じように困っている人はこのあたりにもいるんじゃないかな。その娘さんは、孤独・孤立な状態だったのかもしれないね。

Q．幸ちゃん
そうなの？だとしたら、周りの人は何をしてあげたらいいのかな？

A．福おじさん
家族の面倒を見ている人が一人で頑張りすぎて孤独・孤立になってしまいやすいこと、それを理解して寄り添うことが大切だね。この「孤独･孤立､無理解の問題」は大和市社協が今年の３月に発行した「みんなで描く大和のふくし　パレット」に、いま大和にある問題の１つとして掲載されているよ。

Q．幸ちゃん
一人で頑張りすぎてる人って確かにいるかも。ところで、「パレット」ってなに？

A．福おじさん
第７次大和市社会福祉協議会地域福祉活動計画のことだよ。これは、大和市に住む全員が、お互いを支え合い、安心して暮らせるまちにするためのものなんだって。この計画書を通して、多くの市民が地域福祉を「自分事」としてとらえ、温かい支え合いのあるまちづくりに参加してくれることを目指しているそうだよ。さっきの「孤独・孤立、無理解の問題」をはじめ、目を向けたい問題が８つあげられているよ。

Q．幸ちゃん
お互いを支え合えるまちって素敵だね。でも、問題が８つもあるなんて、何から始めたらいいのかわからないな。

A．福おじさん
大和市社協では今年の４月から「地域支援担当」を設けて､市内１１地区に担当者を１人ずつ配置して、各地域の特性に応じたきめ細かい支援を行っていくことにしたんだって。だから「パレット」であげられている問題についても、その地域の状況によってどの問題を優先してどんなふうに取り組んでいくか、一緒に考え支援していくそうだよ。お互いを支え合い、安心して暮らせるまちづくりが進んでいくといいね！

「パレット」のダウンロードはこちらから
https://www.yamato-shakyo.or.jp/pdf/dai07_chikifukushikatudokekaku.pdf

「地域支援担当」のお問い合わせは
大和市社会福祉協議会　地域支援課　☎046-260-5643